

第39回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会四国大会 祝辞

平成28年8月4日(木)
松山市民会館 中ホール

第39回全国特別支援学校知的障害教育校長研究大会四国（愛媛）大会が、このように盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げますとともに、全国から御来県いただきました皆様を心から歓迎いたします。

また、本日お集まりの校長先生方におかれましては、日頃から知的障がいのある子どもたちの教育的ニーズに応える指導・支援の充実のため、御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、御案内のとおり、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が本年4月1日に施行され、障がいの有無にかかわらず、互いを尊重し合いながら、共生する社会の実現を推進するための積極的な取組が求められております。各学校におかれましては、インクルーシブ教育システムの推進に向けた特別支援教育の一層の充実に取り組まれていることと存じます。

本県では、昨年5月に策定した「愛媛県教育振興に関する大綱～愛顔(えがお)つなぐ学びの未来～」の中で、6つの振興方針の一つに『特別支援教育の充実』を掲げて、「挑戦・実行・現場主義・オール愛媛」を基本姿勢に取り組んでおります。

こうした折、「共生社会の実現に向けて、地域で豊かに生きていく力の育成を目指す学校経営の在り方 ～インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援学校の現状と展望～」を大会主題として、第10次計画の1年目に当たる本大会が本県で開催されますことは、大変意義深いことです。共生社会の実現に向けて、次期学習指導要領の改訂に合わせた学校の組織の在り方、人材育成の推進等について協議を深めていただき、子どもたちが地域で豊かに生きていく力を獲得することにつながっていくことを大いに期待しております。

また、本日は、俳人の夏井いつき先生の御講演もあるとお伺いしておりますが、この春から秋にかけて夏井先生の出身地である県の西南部、南予地域を舞台に、「えひめいやしの南予博2016（にいまるいちろく）」が開催されております。

「いやしのふるさと」南予の魅力を最大限に生かし、お越しいただいた皆様が「愛顔(えがお)」になれる、さまざまなイベントを展開しておりますので、皆様、是非足を延ばされて、穏やかで心地よい風情の中、自然や文化、そして人との触れ合いを楽しんでいただきたいと存じます。

また、いよいよ、来年度は「愛顔(えがお)つなぐえひめ国体、全国障害者スポーツ大会愛顔(えがお)つなぐえひめ大会」が本県で開催されます。初の本県単独開催に向けて、「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」をスローガンに、参加するすべての人々が、愛媛を駆け抜ける風のように舞い輝く大会となるよう、準備を進めておりますので、来年も是非御来県いただきますよう併せてお願い申し上げます。

結びに、本大会の開催にあたりまして、御尽力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げますとともに、本研究大会のますますの御発展と、御参会の皆様方の御健勝、御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。